

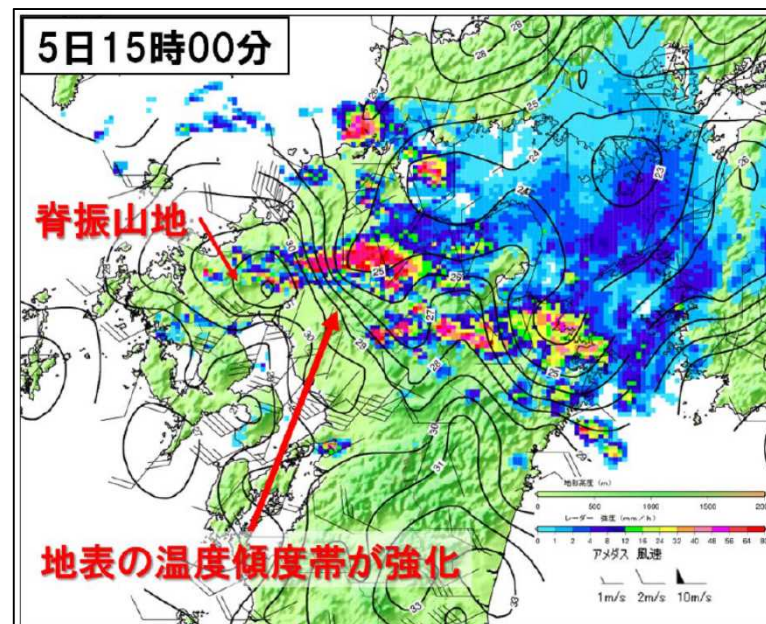
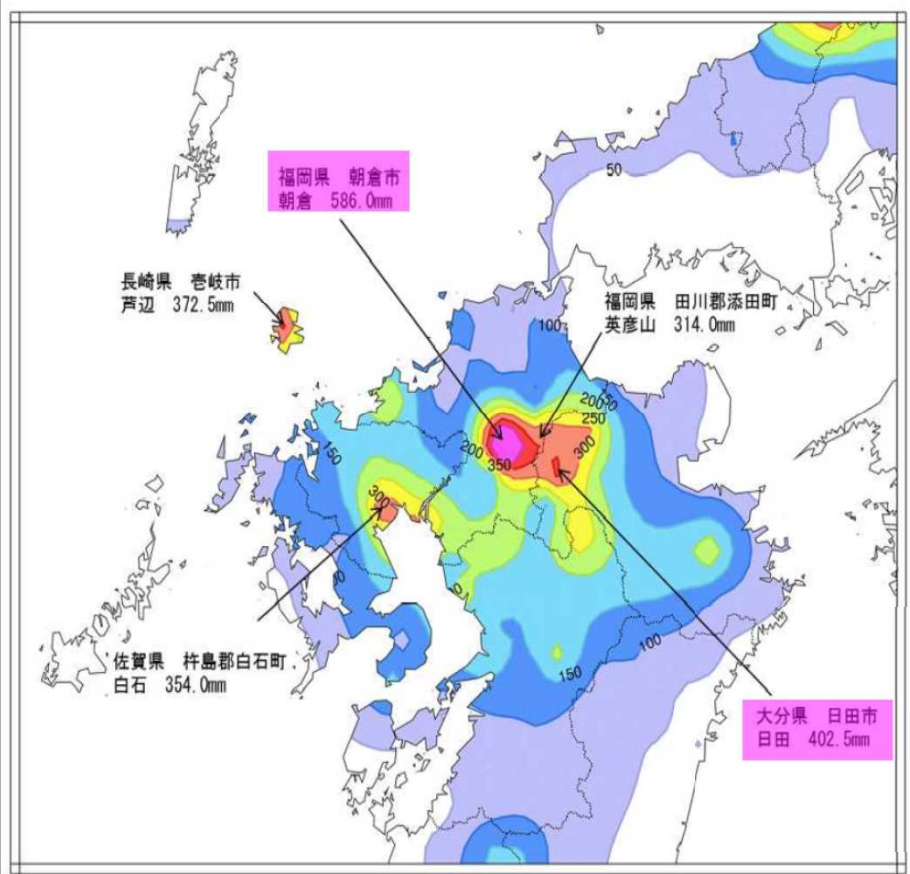
平成29年7月九州北部豪雨災害について

平成29年11月1日
九州地域戦略会議
長崎県

平成29年7月九州北部豪雨災害について

- ・九州初の「大雨特別警報」が発令
- ・観測史上最大の雨量を記録（福岡県朝倉市朝倉、大分県日田市日田など）
- ・大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、福岡県で死者34名、行方不明者4名、大分県で死者3名の人的被害が生じた

・期間降水量分布図（7月5日0時～7月6日24時）



気象の状況

	期間内降水量 (7/5 0時～7/6 24時)	24時間降水量
福岡県朝倉市朝倉	586.0ミリ	545.5ミリ 6日11時40分まで
大分県日田市日田	402.5ミリ	370.0ミリ 6日10時50分まで

(気象庁発表資料から)

平成29年7月九州北部豪雨災害について

10月26日現在

県名	人的被害(単位:人)				住家被害(単位:棟)		
	死亡	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損
福岡県	34	4	6	9	260	829	39
大分県	3	0	1	3	48	269	5

仮置場の確保状況	災害廃棄物		流木・土砂	
	箇所	面積	箇所	面積
福岡県	6か所	22,200m ²	25か所	133,380m ²
大分県	6か所	19,416m ²	設置なし	—

宝珠山日田線(日田市大字小野)



漂流・漂着した流木の状況

佐賀県	海岸、港湾、漁港等での撤去量	合計 約 22,000m ³
-----	----------------	---------------------------

道の駅「三連水車の里あさくら」(朝倉市)



支援の経過等

支援の経過

H29年 7月6日	大分県知事(知事会長・被災地支援対策本部長)と 長崎県知事(知事会副会長)で被災地支援対策本部の代行について協議
7月7日	「九州・山口9県災害時応援協定」第4条に基づく 「九州・山口9県被災地支援対策本部」の本部長の職務を 九州地方知事会の副会長県である長崎県が代行。
	長崎県庁内に被災地支援対策本部設置。記者発表。 ・長崎県でも大雨による災害警戒本部を設置していたため、総務部を中心に組織。
	被災地支援対策本部から福岡県庁へリエゾンを派遣(～7月21日)。
7月10日	被災地支援対策本部事務局を長崎県庁中庭会議室に開設。 被災地支援対策本部から大分県庁へリエゾンを派遣(～7月20日)。
7月21日	被災地支援対策本部事務局を長崎県庁危機管理課内に縮小移設。

リエゾン派遣

福岡県へ	7/7～7/21 15日間
大分県へ	7/10～7/20 11日間

職員派遣の状況

10月26日現在

		福岡県				大分県				合計			
県職員		土木	農土	林業	計	土木	農土	林業	計	土木	農土	林業	計
要請数		13	7	15	35	3	2	2	7	16	9	17	42
応援数		10	4	13	27	3	1	2	6	13	5	15	33
内訳	九州・山口	7	4	3	14	2	1	1	4	9	5	4	18
	全国知事会	3	0	10	13	1	0	1	2	4	0	11	15
不足数		3	3	2	8	0	1	0	1	3	4	2	9

(参考) 市町村への派遣

- ・福岡県朝倉市 19人 (九・山 12人、全国市長会・町村会 7人)
- ・福岡県東峰村 2人 (九・山 1人、全国市長会・町村会 1人)

※全国市長会・町村会分は、現在調整中のため未確定